



# 学校だより

令和4年4月22日 NO.3

尼崎市立金楽寺小学校

校長 中根 孝介



## 金楽寺小学校 春の活動 本格化へ・・・



新学期が始まり、どの学年も徐々に新しい学年に慣れてきたようです。

教室ではしっかりと手を挙げ発表する姿、運動場では元気よく遊びまわったり、体育の学習をしたりする姿、正門や校庭では春の自然を見つけ観察する姿が見られます。どの子ども生き生きとした表情を見せてくれます。

6年生の理科の実験です。空き缶の下のほうに穴をあけたものと開けていないものとの比較して「物の燃え方」を学習していました。「どんな実験をしているの?」と尋ねると、

「穴を開けた方は・・・で、開けてない方は・・・です。」ととてもわかりやすく答えてくれました。さすが金楽寺小学校の6年生です。

児童会（子どもたち自身が企画運営していく会）が中心になって行う「1年生を迎える会」がありました。入学のプレゼントをもらうなど、1年生も温かく迎えられました。また、他の学年から少し遅れて、今週の火曜日から1年生の給食も始まりました。1年生にとって、小学校で給食初めてのメニューは、「**カレーライス、サラダ、牛乳**」です。毎年、1年生第1回目の給食の定番はカレーやハヤシライスなど、子どもたちの人気メニューです。子どもたちも保護者のみなさんも、初めての給食にワクワクドキドキする一方、「量が多くて、残してたらどうしよう」「野菜嫌いだけど、食べられるかなあ」と心配される方もおられることかと思えます。学校にとっても、1年生の給食の始まりは、大きな楽しみであると同時に挑戦です。エプロンの着方やたたみ方、「配膳はうまくいくかなあ」「みんなおいしく食べきれるかなあ」…と心配は尽きず、各クラス複数の教職員が支援します。お子さんに「今日の給食、どうだった?」などと様子を尋ねていただき、心配事がありましたら、担任に相談していただければと思います。

1年生に限らず、どの学年も新学期は、学校生活や友達関係などに不安を感じることもあります。折に触れ、学校の様子などをお子さんに尋ねてみてください。楽しかったことや頑張ったこと、不安に思ったことなどいろいろとあるかと思えます。何気ない家庭での会話が子どもたちの成長や心の安らぎになったり、思わぬことを発見したりすることもあります。学校でも、「子どもたちの話を聞く」姿勢を大切に、教育活動を進めていきます。ともに健やかな育ちをはぐくむことができるようご協力をお願いします。



「そでをびんとのはしてたむよ」

「もりもり、食べるよ～」 「おいしいー」

「ぜんぶ、たべましたー」

黒板には写真をはり、給食の準備のしかたがわかりやすいよう工夫しています。